

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがステイ・スマイル(笑顔のままで)です。

Stay Smile 農業の未来へ向かって ~新たな力~

町新規就農支援事業

◆小林 実さん (松目)

はじめまして。平成28年4月に東京から富士見町に家族5人で引っ越してきました。現在、(株)あぐりクリエイイト信州諏訪で2年後の独立就農を目指して研修中です。

富士見町に来るまでは、数年おきに各地を転々とするサラリーマン生活を送ってきましたが、いつか家族で自然豊かなところに住んで高原野菜を作りたい、という思いを抱いていました。そのような中、東京で開催された就農フェアで富士見町の話聞く機会があり、ここなら自分のやってみたい農業が出来るのではないかと感じました。家族もその素晴らしい自然環境を気に入り理解してくれたので、思い切って移住を決断しました。ただ、当初は全くの農業ど素人の自分が本当にやっていけるのか相当不安がありましたが、研修先の方々から農業の基礎を一から丁寧に教えて頂き、また、先輩農家の方からも助言を頂くうちに、少しずつ自分の進むべき方向性も見えてきて、今では楽しく充実した研修の日々を過ごしています。

新生活に馴染めるかちょっと不安だった子供達も近所の皆様や小学校の先生、友達に温かく迎え入れて頂き、毎日元気に遊んでいます。

まだまだ独立するまでには学ぶことばかりですが、将来、1人前のキャベツ農家としてお世話になった方々に少しでも恩返しをし、富士見町を盛り上げていけるよう頑張っていきたいと思います。皆様、これからも家族とともどもどうぞ宜しくお願い致します。



Stay Smile 本と遊び、本に学ぶ

富士見町子ども読書活動推進委員会 事務局 ☎62-7930

富士見町子ども読書活動推進計画(第2次)

富士見高校 読書活動紹介

富士見高校図書館です。

クリスマス読書週間の企画として、映画やアニメになった本を図書委員が書いたPOPを添えて展示しました。

9月に築51年の図書館を生徒父兄職員で大掃除しました。2017年度は諏訪地区県立9高校の図書委員連絡会を富士見で開催します。せっかく諏訪中から集まってもらうので、日本一の富士見町立図書館を紹介したいですね。

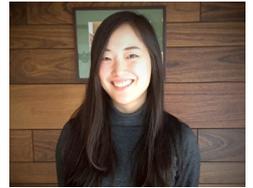


▲今年の図書委員連絡会 於：茅野市家庭教育センター



Stay Smile こんにちは。『地域おこし協力隊』です！

「富士見 森のオフィス」で地域おこし協力隊として働いている渡辺葉です。今月は森のオフィスからのお知らせをお届けします。



空き家 募集中!

森のオフィスを利用する方の中には、富士見町に新しく移住してきたばかりの方も大勢いらっしゃいます。みなさんが口を揃えておっしゃるのは「富士見はとても良いところだけど賃貸の一軒家が見つからない」ということです。空き家は沢山あるはずなのに、業者からは借りられないことが多いようです。もし貸してもいい空き家をご存知でしたら、ぜひ森のオフィスまでご連絡ください。まだ物が沢山置いてあるから貸せない、という場合も、片付けからご協力できる方もおりますのでご相談下さい。



お仕事無料相談 受付中!

平成28年12月からスタートしたお仕事無料相談受付は、毎週火・木・土曜日の13時から15時の間、森のオフィスにて引き続き実施しております。町民の方からこれまでにこんなご相談を頂きました。

- HPのリニューアルと菓子商品のパッケージのデザインをお願いしたい（農家さんから）
→ 森のオフィスを利用しているデザイナーさん2名をご紹介します。
- SNSでの告知方法を教えて欲しい（英語塾講師の方から）
→ Facebookとブログの活用方法を簡単に指導させて頂きました。
- エステの仕事を再開したく、この辺りでマッサージ・ヨガ・アロマなど、癒やしに関わる仕事をしている人たちと繋がりたい（主婦の方から）
→ 森のオフィスで2月に合同イベントを開催予定です。
- 年賀状作成ソフトがフリーズしてしまったが、サポートセンターに繋がらないので助けて欲しい（町民の方から）
→ 森のオフィスにパソコンを持参頂き解決しました。

今後も皆さまからのご相談をお待ちしておりますので、ぜひお気軽にご連絡下さい。

富士見町富士見3785-3(塚平) ☎78-8009 運営スタッフ:津田、松井、渡辺、松田

Stay Smile 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ~子どもの場所から~

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

子どもの体や心の準備を待つ

「啐啄同時」という言葉があります。「そったくどうじ」と読むそうで、「啐」は鶏の雛が卵から生まれ出ようとするとき、殻の中から卵の殻をつついて音をたてることを意味し、「啄」は、そのとき、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破ることを言うそうです。この「啐」と「啄」が同時であってはじめて、殻が破れて雛が産まれるということです。人間も出産の時、赤ん坊が産道においてきてお腹の外に出ようとするタイミングで母親がいきみます。まさに啐啄同時です。では子育てに当てはめて考えてみるとどうでしょう。親は子どもの成長を期待するあまり、我が子のペースを見失いがちです。ほかの子と比べて焦り、我が子の体や



一人ひとりの育ちのペースを大事に

心の成長を見るより先に悩みを大きくしてしまうこともあります。そんな時にこの「啐啄同時」を心において子どもを見たいと思います。子どもは自ら育つ力を持っていて、いろいろなことを習得するタイミングはそれぞれ違います。その子自身の体や心がふさわしい状態になっていないのに、親が習得させようと焦ってもなかなかうまくいきません。例え習得したとしても、子ども自身の達成感や子どもの内面の成長は、自分でタイミングを選んだ場合に比べて低いと思います。

まずは、子どものことをよく見、子どもが発する「今だ」というタイミングを逃さず相応しい協力態勢をとる、そんな風に子育てをすると、日々の悩みも軽くなるでしょう。